自己紹介

雨宮綾南 学部 3 年

長野県 諏訪地域出身

山梨大学 生命環境学部
地域社会システム学科
観光政策科学特別コース

諏訪の実家から電車通学

大学について

山梨大学を選んだ理由

- ・実家から通える大学だったから
- ・様々な分野が学べる、観光コースがあるから

山梨県の良さ

- ・自然が多く、四季が豊か
- ・個人経営のお店が多い
- ・人と人の繋がりが強い

地域の中での学び

Miraiプロジェクト

企業や団体のニーズや課題に基づいて、学生と協働で行うプロジェクト

- ・ 社会との新たな繋がりを築くことができる
- ・ 社会で役に立つ実践力を身に着けることができる

目的

- ①山梨の産業・企業・観光資源の周知を図るとともに
学生に対する山梨県の魅力度アップを狙う
- ②甲府商工会議所のネットワークを利用し、
オリジナリティの溢れるツアーを作る

ターゲット 山梨県内在学中の大学生

甲府商工会議所 × 山梨大学・山梨県立大学・山梨学院大学（計5人）

山梨をもっと知る、学生向け 「産業観光ツアー」プロジェクト

行った企画

第1回

一夜限りの花火大会開催！山梨産業観光ツアー
～ここでしかない体験で今年最後の夏の思い出を～

ツアー料金 7,900円（税込） ツアー実施日 9月25日（月）

第2回

山梨県大学生格付けチェックツアー

対象者：山梨県内大学生

参加料金：3000円程度 実施日：2月7日(水)

**一夜限りの花火大会開催！
山梨産業観光ツアー**
～ここでしかない体験で今年最後の夏の思い出を～

日時 2023年9月25日(月)
参加費 7,900円(税込)
対象 山梨県内の大学生 定員 15名のみ！

**花火の製作から
打ち上げまで出来ちゃう！**
神々の花火をはじめとする数々の花火大会に参加する株式会社マルゴーさんのもとで1人1つ自分だけの花火を手作りします！最後には打ち上げも！

**大手企業や伝統産業を
見学・体験しよう**
・大妻をはじめとする数々の製粉工場
・食品メーカー会社 株式会社はくばく
・歴史ある市川和紙の技術継承の拠点 市川手漉し和紙 夢工房
実際に見て、作って、山梨を学ぼう！

大学生が作るツアー！？
ツアーの企画から運営まで、山梨県内の大学生5人が集まって行いました。もう2度とないかもしれない大学生のためのツアーです！

**料理長厳選の
山梨食材料理！**
山梨で有名な和食店 寿司・和食おかめでは料理長が厳選した山梨の食材を楽しむことができます！

スケジュール

- 9:10 受付開始 (甲府駅南口 奥藤本店前)
- 9:35 甲府駅出発
- 10:30 株式会社マルゴー
- 工場見学&花火手作り体験 -
- 12:50 株式会社はくばく
- 工場見学&昼食 -
- 15:15 市川手漉し和紙 夢工房
- 市川和紙を使った名刺作り -
- 17:40 寿司・和食おかめ 夕食
- 18:50 花火大会
- 手作りのオリジナル花火打ち上げ -
- 20:20 甲府駅解散

株式会社マルゴー 専務取締役 賀木智介さん
コメントをいただく

事業企画・主催：甲府商工会議所・Miraiプロジェクト
後援：山梨交通株式会社
お問い合わせ：甲府商工会議所
〒400-8512山梨県甲府市相生2-2-1
TEL.055-233-2241 FAX.055-233-2131
Email.saito@kofucci.or.jp

詳細・申し込みはこちらから
<https://kofucci.or.jp/event/20230816>
QRコード
募集締切：9月1日

**山梨産業観光
格付けチェック**
～甲府駅周辺徒歩きツアー～

日時 2023.02.07
9:30～16:45
対象者 山梨県内大学生
参加費 3000円
定員 15名

山梨県内大学生になるのはまだ？
山梨県内大学生になるのはまだ？
You did it!

五感 五感を使って遊び、楽しみ、学ぶ。

味覚 聴覚 触覚 嗅覚

第2弾！！
大学生5名による
大学生のためのツアー！
格付けチェックで優勝した人には
豪華賞品をプレゼント！！

事業企画・主催：甲府商工会議所・Miraiプロジェクト
お問い合わせ：甲府商工会議所
〒400-8512 山梨県甲府市相生2-2-1
TEL.055-233-2241 FAX.055-233-2131
Email.saito@kofucci.or.jp

地元住民と移住民、
企業とクリエイター、
子供とお年寄りが繋がり、
新しい出会いが生まれるお
祭り

こぶちさわすずらん祭り実行委員会
山梨大学・山梨農林大学校 計5人

プロジェクトの目的

1. **こぶちさわすずらん祭り**を盛り上げるために、
 - ・祭りの企画・運営
 - ・高校生が企画・運営をするブースのサポート
 - ・大切なチームワーク、地域課題に解決するデザイン力を身に着ける
2. 来年度に向けた運営の仕組み化

ステージ

【当日までに行ったこと】

- 出演者との打ち合わせ
- お祭り当日の流れの確認
- ステージのエリア確認

【当日行ったこと】

- MC
- 抽選会の準備
- タイムテーブルの管理
- ステージの現状管理

広報

【当日までに行ったこと】

- ・ SNSによる出店者・出演者の紹介
- ・ ホームページ作成
- ・ 出演される落語家への取材
- ・ 当日のエチケットなどのアナウンス

【当日行ったこと】

- ・ ストーリー投稿・撮影

すずらん祭りとは？

今年で38回目を迎える「こぶさわすずらん祭り」は、小淵沢駅前商店街で「小淵沢町練り込み囃子」やキッチンカー出店、パフォーマンスが行われ、町中のこどもや学生、お年寄りも楽しみにやってくる小淵沢の夏の風物詩です。徐々に関係者や参加者が増え、去年は3,000人以上の人が集まりました。今年も当日のお客さんとしてはもちろん、ボランティアスタッフや協賛サポーターとしてすずらん祭りを盛り上げて、一緒に小淵沢をおもしろい町にしましょう！

小淵沢の夏を体感しよう！

本部

- ・ 離乳室・キッズルーム・救護室の準備
- ・ ボランティア(高校生スタッフへの指示だし)
- ・ 本部テントでの出場団体、ボランティアの受付
- ・ 本部での対応(落とし物、質問、うちわ売り)

出店

【当日までに行ったこと】

- 販売する商品の試作
- 材料、設備準備
- 顔はめパネルの作成

【当日行ったこと】

- 商品の仕込み
- 調理と販売

SDGsを考えた出店・募金活動も行った

こぶちさわ すずらん祭り

昨年との比較

- ・ 出演団体数 10 → 12
- ・ 来場者数 約3000人 → 約3500人
- ・ 出店数 35店舗 → 46店舗
- ・ ボランティア数 100人 → 170人

→ 昨年より規模を大きく開催することができた

全体の反省

良かった点

- ・ 地域の方の温かさを感じることができた
- ・ 学生スタッフが関わることで、学生の来客者が増えた
- ・ 幅広い世代の方に楽しんでもらえた

反省点

- ・ 各個人ごとに仕事が偏り、情報共有が不足していた
- ・ 事前連絡があまりできず、当日まで知らないことがあった

→ マニュアルを作り、仕事の振り分けをできるようにする
自分の分担以外の情報も共有し、把握する

地域で学ぶことの意義

- ・地域の課題を身をもって知ることができた
- ・様々な世代の方々や住民、企業の方と関わることもできた
- ・地域で行われるイベントの重要性が分かった

- ・自分の地域に置き換えて考えることができた
- ・性別や世代の垣根を超えた関わりの大切さを感じた
- ・住民同士の繋がりの大切さを学ぶことができた